

平成30年度 名古屋市立大学における動物実験に関する情報

1.動物種及び動物数(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

動物種	期間当初の匹数	導入匹数(*1)	使用匹数(*2)	期間末の匹数
マウス	1,660	55,377	45,009	12,028
ラット	69	4,048	3,029	1,088
ウサギ	2	66	66	2
モルモット	0	39	38	1
ハムスター	0	46	46	0
マーモセット	0	32	8	24
トカゲ類	3	0	1	2
カメ類	1	0	0	1

*1 購入や出生等により増加した匹数

*2 処分数や譲渡数等の合計

<参考>

動物種	期間当初の匹数	導入匹数(*1)	使用匹数(*2)	期間末の匹数
カエル	0	52	34	18

2.飼養保管施設数

飼養保管施設数(*3)

14

*3 平成31年3月31日現在

3.主要飼養保管施設名称

実験動物研究教育センター

実験動物飼育施設

4.平成30年度承認件数

承認件数(*4)

249

*4 複数年承認もあることから、件数は平成30年度を承認期間に含む計画の合計。

5.平成30年度教育訓練実績

講習会名	受講者数(人)	実施日時
医学研究科動物実験規程講習会	24	4月12日(木)
薬学研究科動物実験規程講習会(継続)	188	4月24日(火)
薬学研究科動物実験規程講習会(新規)	49	4月24日(火)
医学研究科動物実験規程講習会	17	6月5日(火)
医学研究科動物実験規程講習会(基礎自主研修)	100	7月25日(水)
薬学研究科動物実験規程講習会(継続)	11	8月24日(金)
医学研究科動物実験規程講習会	19	9月6日(木)
薬学研究科動物実験規程講習会(新規)	2	9月19日(水)
薬学研究科動物実験規程講習会(継続)	2	10月24日(水)
薬学研究科動物実験規程講習会(新規)	28	10月24日(水)
薬学研究科動物実験規程講習会(新規)	2	11月15日(木)
薬学研究科動物実験規程講習会(継続)	3	11月16日(金)
医学研究科動物実験規程講習会	12	12月14日(金)
システム自然科学研究科動物実験規程講習会	-	希望者なし
	合計	457

6.教育訓練実施内容の概略

講習会名	実施内容概略
医学研究科動物実験規程講習会	<ul style="list-style-type: none"> ・関連法令, 指針等, 本学の定める規程等 ・動物実験等の方法に関する基本事項 ・実験動物の飼養保管に関する基本事項 ・安全確保及び安全管理に関する事項 ・人獣共通感染症に関する事項 ・その他
医学研究科動物実験規程講習会 (基礎自主研修)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書等の作成を行なわないことから、内容は上記の簡易版
薬学研究科動物実験規程講習会 (新規)	<ul style="list-style-type: none"> ・関連法令、指針など、本学の定める規程 ・動物実験などの方法に関する基本事項 ・実験動物の飼養保管に関する基本事項 ・安全確保および安全管理に関する事項 ・人獣共通感染症に関する事項 ・動物舎の利用方法と注意事項 ・動物舎管理スタッフの紹介(KAC職員)
薬学研究科動物実験規程講習会 (継続)	<ul style="list-style-type: none"> ・安楽死の意義と方法 ・実験動物の福祉・愛護と3Rの原則 ・微生物感染症対策について ・動物舎の利用について注意事項の再確認 ・動物舎管理スタッフの紹介(KAC職員)
システム自然科学研究科 動物実験規程講習会	<ul style="list-style-type: none"> ・関連法令、指針など、本学の定める規程 ・動物実験などの方法に関する基本事項 ・実験動物の飼養保管に関する基本事項 ・本学の動物実験施設及び計画の現状について

7.動物実験委員会の構成(3区分)

平成30年4月1日現在

役割(*5)	所属	専門分野
①	薬学研究科	イオンチャネル分子薬理学/循環器薬理学/平滑筋薬理学
②	医学研究科	実験動物学/病態医化学
②	医学研究科	細胞生理学
①	薬学研究科	神経科学/神経再生/小児科学
①	システム自然科学研究科	分子進化学/動物系統学
③	経済学研究科	日本経済史/環境経済史
③	人間文化研究科	社会心理学
③	芸術工学研究科	建築環境工学/環境心理・環境行動/建築設備学
③	看護学部	生理学
③	事務局	

※役割とは、文部科学省の指針に示された以下のことを示す

- ①動物実験等に関して優れた識見を有する者
- ②実験動物に関して優れた識見を有する者
- ③その他学識経験を有する者